

2025年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任		
国語	言語文化	3	1年次	秦利幸・佐々木千春		
選択するときの条件	1年次に全員共通履修					
使用教科書	(文英堂)言語文化	使用副教材	(文英堂)「言語文化 準拠ワーク(古文編)(漢文編)」 (浜島書店)「新訂版 最新国語便覧」 (桐原書店)「基礎から解釈へ 新しい古典文法 四訂新版」「同 演習ノート」 (桐原書店)「基礎から解釈へ 漢文必携 五訂版」「同 チェックノート」			
科目の目標			道徳教育のねらい			
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。			言葉を通して、人間と人間との関係の中で互いの立場や考え方を尊重し合えるような、道徳的心情や道徳的判断力を養う。			
学習活動内容	育てたい6つの力(資質・能力)					
	1 主体的 学習力	2 基礎力	3 思考・ 分析力	4 発信・ 表現力	5 自己認知 ・協働力	6 計画 実行力
1 古文入門	◎	◎	○			◎
2 文語文法	◎	◎	○		○	○
3 歌物語		○	○	○		
4 随筆		○	◎		◎	
5 日記		○	○	○	◎	
6 古典の詩歌	◎		○	○	◎	
7 近現代の詩歌	◎		○	◎		
8 近現代の詩歌	◎		○	◎		
9 漢文入門	◎	◎	○		○	◎
10 故事成語		○	◎		◎	
11 漢詩	◎	◎	○	◎	◎	○
12 思想			◎	○	◎	
13 文章			○			
14						
15						
16						
17						
18						
評価の観点	知識・技能		思考 判断 表現		主体的に学ぶ態度	
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。		「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。		言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、ものの見方、感じ方、考え方を深め、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。	
評価の方法	次の3観点において、各資料をもとに総合的に評価し、5段階の評定をする。また、各観点については、到達度により総合的に評価し、A・B・Cの3段階で評価する。定期考査では「知識技能」を、授業・課題への取組および提出物により「思考・判断・表現」「主体的に学ぶ態度」を評価します。					
	A: 目標に対する到達度が70%~100%		B: 目標に対する到達度が45%~69%		C: 目標に対する到達度が0%~44%	
	教科・科目における各観点	授業での取組	課題への取組	提出物	考査	
	知識・技能	○	○		◎	
	思考・判断・表現	○	○		◎	○
主体的に学ぶ態度	◎	◎		○		

言語文化 授業計画

		授 業 計 画			実施状況		
月 (時数)	単元・考査等(配当時数)	学習のねらい	学習内容(配当時間)	単元 実施 時数	実施反省		
前 期	4 (8)	1 古文に親しむ ふたつの月 なよ竹のかぐや姫	2 古典の世界に親しむことの意義を知る。 6 既知のストーリーを文語文で再確認することで、古典の導入とする。	音読・内容理解 歴史的仮名遣い・音読・内容理解	2 6		
	5 (12)	古典文法① 児のそら寝(宇治拾遺物語)	4 古典文法の基本的な仕組みを理解する。 8 時代を超えたユーモアを理解することで、人間にとっての普遍的な感情を認識する。	文・文節・単語の区別 品詞の区別 用言(動詞・形容詞・形容動詞)・係り結び 音読・内容理解・口語訳・用言確認	4 8		
	6 (11)	3 変化を読み取る 芥川(伊勢物語) 東下り(伊勢物語)	6 話中の和歌の役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 5	音読・口語訳・内容理解・用言確認・和歌の修辭 助動詞(過去・完了・打消)	6 5		
前期中間考査(1)							
前 期	7 (7)	1 漢文に親しむ 訓読の基本、成語・格言	漢文を読む意義を知る。 4 訓読・返り点について理解する。	返り点・訓読・書き下し・口語訳 返読文字・再読文字	2 2		
	8 (6)	矛盾 狐借虎威 古典文法②	2 漢文の訓読に慣れ、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。 2 5 古典文法の助動詞について理解する。	音読・書き下し・口語訳・背景 句法(否定・禁止・使役・反語) 助動詞(意味・接続・活用)	4 5		
	9 (9)	2 ものの見方をとらえる 徒然草 ある人、弓射ることを習ふに 高名の木登り 日記 門出(土佐日記)	2 随筆を読み、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、もの見方・考え方を理解する。 3 4 わが国最初の日記文学を読んで、記録としての日記とは異なる表現方法と執筆意図を読み解く。	音読・口語訳・内容理解 用言確認・助動詞(完了・打消・推量・断定) 禁止の句法 音読・口語訳・内容理解・和歌の理解 助動詞(意志・伝聞・存続)・音便・不可能	5 4		
前期期末考査(1)							
後 期	10 (12)	絶句・律詩・日本漢詩 四～五編選択	表現や技法に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。 6	訓読・音読・書き下し・口語訳 内容理解・鑑賞	6		
	11 (10)	4 言語感覚を磨く 枕草子 春はあけぼの 雪のいと高う降りたるを 羅生門	作者の批評的精神が提示する事柄を具体的に読み解く。 3 3 8 登場人物の行動から心理を把握し、作品の主題について考察する。 出典となる古典文学を読み、比べ読みの導入とする。	音読・口語訳・内容理解 助動詞(推量・意志・婉曲)・用言の確認(形容詞・形容動詞)・敬語 段落分け、場面展開と心理の推移 登場人物の状況からの心理考察 作者の執筆のねらいについての考察	6 7 1		
	12 (10)	2 関係を読み解く 史話 管鮑之交 鶏口牛後	2 既習の漢文知識を用いてストーリーを把握する 2 漢文特有の、喩えから主張の関係性の導入とする	訓読・音読・書き下し・口語訳 内容理解・鑑賞	2 2		
後 期	4 多様な考え方を学ぶ 論語	4 『論語』について知り、孔子のもの見方や考え方を理解する。	訓読・音読・書き下し・口語訳・内容理解	4			
	後期中間考査(1)						
	1 (6)	7 生き方を考える 旅立ち(奥の細道)	俳諧紀行文における散文と句の関係を理解し、作品に表れた作者の思想や心情を捉える。 5	音読・口語訳・俳諧の鑑賞・漢文の影響・対句表現	5		
2 (8)	5 未来を思いえがく 桃花源記	5 漢文の散文作品に触れ、桃源郷の由来ともなった理想郷のあり方を理解する。	訓読・音読・書き下し・口語訳・内容理解	5			
後期期末考査(1)							
3 (6)	詩四編 小諸なる古城のほとり 冬が来た・一つのメルヘン 古典文法③	5 短歌の鑑賞のしかたを理解し、近代を代表する歌人の作品を味わう。 7 敬語文法の定着と語句の識別を理解する。	音読・口語訳・作者について・鑑賞 例文読解・演習	5 7			